

【評価の内訳】

協働事業の評価	評価数
当該協働事業を実施したことで、具体的に市民サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものである。	6
ほぼ適切な協働事業として評価できるものである。	3
協働事業として、うまく機能しなかった。	1

【事業に関する意見】

1	団体と担当部署が連携し、事業を実施していることから、ほぼ適切な協働事業として評価できる。傾聴ボランティア養成研修への参加者は多く、傾聴するスキルを身に付けることは重要であるが、最終的な目的は高齢者の孤立を防止し、幸福感の維持や認知症や介護の兆候等の早期発見に繋げることと考える。研修の受講者による地域の高齢者への傾聴ボランティアの実績や効果を検証していくことが必要であると考ええる。
2	アンケート結果から、今回学んだコミュニケーション手法を活かしていきたい旨の回答が多くあったので、市民のニーズに即した事業であったと評価できる。傾聴の基礎を学んだ市民を増やし、高齢者の孤立を防ぐという目的で傾聴ボランティア研修を実施されたが、研修内容がよかったため、研修参加者にとっても地域で暮らす高齢者にとっても価値あるものであったと思われます。今後も引き続きこの事業を継続していただきたいと思います。
3	2回の開催で多くの方の参加があり、アンケート結果等からも評価できる。2回の養成研修に多くの方が参加し、参加者の満足度も高く良かったと思われる。研修により多くの市民の意識に浸透できれば良いと思うが、「傾聴」自体の成果の確認が難しい部分だと感じました。
4	2回の傾聴ボランティア養成研修会において多くの方に参加いただいた状況をみると、市の助言やアドバイス、団体の企画、事業運営などそれぞれの役割と責任を果たし、相互に協力し事業を実施することができたものと判断いたします。市と協働で行うことで周知効果も高いとのことなので、この事業が果たす役割やその効果、実績について、市民の皆さんへ継続的な情報発信をしていただくようお願いいたします。
5	各2回の参加者がそれぞれ60名程集まったということで、関心も高く、内容も良かったと感じる。参加者の感想や意見も好意的なものが多く、引き続き実施していくことが望まれる。高齢者の孤立化は大きな社会問題であり、放っておけない事案だと感じる。そこにスポットをあて、傾聴者を増やしていくという発想は良いと思う。身近なボランティアを増やしていこうという活動もタイムリーであり、今後の活動に期待したい。
6	傾聴ボランティアの必要性は理解しているが、報告書を見るかぎりでは、協働事業としてうまく機能したとは感じなかった。傾聴ボランティアを養成し、孤立しがちな高齢者世帯に対し、声掛けなどを行っていくことは必要だと思うが、報告書を見るかぎりでは、担当部署との打ち合わせなどが十分に行われていたか疑問に思う。 協働事業として継続していくためには、もっと担当部署との連携を図った方が良いと思う。
7	独居老人が増え、人とのふれあいがますます重要になっている社会で、行政を補完することのできる事業であると思います。
8	2回の開催でのべ約120人の参加があったこと、また参加者のアンケートの声から、充実した事業であったと評価します。少子高齢化や地域コミュニティの減少防止対策として、今後も継続していただきたいと思います。
9	実施団体と担当部署との連携の下、適切に事業が実施されたと考える。友人・知人の紹介による参加が多く、また、市外の方からの申込みもあることを踏まえると、事業が着実に展開されているものと考ええる。
10	関係部署とうまく連携を取り、円滑な事業運営を実現したと考える。社会情勢に適応した事業内容であり、市内外から多くの方が参加し、充実した内容であったことが伺える。